

1. 開会 進行：藤原生涯学習課係長
2. あいさつ 井上委員長
大北教育長
3. 委嘱状交付 机上交付
4. 委員自己紹介 各委員
5. 事務局自己紹介 各事務局
6. 報告
三木市教育の基本方針について } 河端生涯学習課長より説明（11分間）
7. 議事
令和3年度社会教育施策の推進について } 各課長、館長より説明（27分間）

【質疑応答】

(井上委員長)

- ・では、「令和3年度社会教育施策の推進について」、質問、ご意見がある方は挙手にてお願いする。

(石田委員)

- ・図書館のことについて、お聞きしたい。青山公民館図書館の蔵書数に対して自由が丘公民館図書館の蔵書数が極端に少ない。人口割ではあまり変わらないのに自由が丘公民館はあまりに少ない。自由が丘公民館で増やそうと思えば十分増やせる場所はあると思うが、その点はどうか。

(伊藤図書館長)

- ・自由が丘公民館は分館ではなく、中央図書館のサービスポイントとして設置している。中央図書館の本を予約、返却できるようになっており、通常の蔵書は3千冊置いてサービスポイントとしている。

(石田委員)

- ・自由が丘から青山に行く人が多い。自由が丘公民館にはスペースが十分にある。自由が丘公民館の住民にも便宜を図ってほしい。

(伊藤図書館長)

- ・有効活用できるように本の入れ替えはしている。

(石田委員)

- ・今後自由が丘公民館の蔵書数を増やす考えはあるのか。

(伊藤図書館長)

- ・今のところ自由が丘の蔵書数を増やす予定はない。

(河端生涯学習課長)

- ・自由が丘公民館の図書スペースはかなり狭く、図書館を広げるのは困難である。自由が丘の本は図書館の本なので定期的に入れ替えもあり、充実している。新聞もいれてもらい、他の公民館より図書コーナーは良い環境である。

(石田委員)

- ・2点目の質問は、文化・スポーツ課に対してである。文化とスポーツの振興基金の仕組みについて説明してほしい。振興基金には三木市が出資しているのか。

(金井文化・スポーツ課長)

- ・いずれも企業からの寄付金を資本としている。文化の方は、子どもたちの芸術鑑賞の機会を設ける費用に使っている。また、スポーツの方は、全国大会に出場する生徒・児童への助成事業として使用するのと小学生スポーツ大会の費用として使わせていただいている。

(石田委員)

- ・三木市も資金を足しているのか。

(金井文化・スポーツ課長)

- ・三木市から資金は出していない。スポーツは2億円の寄付金の運用利益、文化は1億円の寄付金を市で管理し、それを財源として運用している。

(井上委員長)

- ・振興基金の仕組みを社会教育委員さんがご存じない状況である。広報にのせて皆さんに周知し、実状を伝えてほしい。これは、岡田金属工業所から寄付いただいた3億円の運用資金で行っており、三木市は資金を出していない。この制度は、要項に基づき、個人や団体に援助を行っているものである。もう少し市民にわかりやすく実状を伝えてほしい。

(金井文化・スポーツ課長)

- ・スポーツ振興基金の活動事業報告書は関係団体に送付しているが、市民の皆様にもお知らせをしたい。

(國井委員)

- ・今年、千葉県で小学生が下校中、トラックにはねられ2人が死亡し、3人が重症を負ったという事故が起きた。テレビでは、菅総理大臣も早急に通学路の点検を行うよう指示を出したが、三木市の状況はどうか。点検をされたのか。

(本岡総務部長)

- ・担当課に確認いたします。

(國井委員)

- ・通学時の見守りをしているが、マナーが悪いドライバーが多く、危険な状況である。市役所の交通安全指導員による交通教室は、コロナでできなかった。子どもの通学時の安全を確認した

い。

(奥村委員)

- ・市内学校の現状について、説明したい。千葉の痛ましい事故を受け、下校指導を行っている。先生が朝の集合場所まで連れて帰っている。また、点検箇所の洗い出しを子ども目線で行っている。なお、現在勤めている緑が丘東小学校では、地域の声もあって歩道もあり、ガードレールも設置されている。8月24日に三木市子どもの移動経路安全推進会議が開催される予定で、通学路の安全確保に努めている。また、自転車の安全指導訓練については、インターネット配信を行うなど工夫している。

(國井委員)

- ・別所小学校は通学路が狭く、心配である。通学路についての変更基準はあるのか。

(奥村委員)

- ・推進委員やPTAの方々の意見により、毎年通学路の変更をかけている。迂回することによって、危険が増す場合がある。基本的に道路を横断する場合は、横断歩道や信号機がある場所を優先している。

(井上委員長)

- ・一番良い道路を通学路としている。校区のPTAの方々、垣根隊の皆様が相談されながらいろんなご苦労があると思う。

(神澤委員)

- ・生涯学習課がホースランドパークの担当課になったという事であるが、エオの森研修センターも含めているのか。エオの森研修センターの施設は大変傷んでおり、放置されていて管理されていない。何度言っても修理してもらえない。管理者は3年ほどで交代してしまうし、現場の者は困っている。考えてほしい。

(河端生涯学習課長)

- ・担当課として実状を把握できていないので、今後お話を伺っていききたい。ご協力をお願いしたい。

(井上委員長)

- ・現状を確認して、できる範囲で進めていただきたい。他にご意見はないか。
- ・それでは、最後に私の方から2、3点確認したい。
まず、連合婦人会の組織がどうなっているのか、地域のコミュニティの中核として頑張っておられた婦人会組織がなくなることで地域コミュニティの希薄化がますます進んでいくのではと危惧している。現在の現状についてお尋ねしたい。

(河端生涯学習課長)

- ・令和3年3月末をもって連合婦人会は解散され、細川町婦人会も同時に解散された。各地区の婦人会は徐々になくなり、細川の地区だけになった。解散の要因としては、後継者不足もあるし、連合婦人会長も長期在籍されたが、残念ながら解散となった。なお、婦人部の新規の組織については、把握できていない。また、女性団体連絡会は残っており、担当は子育て支援課である。

(井上委員長)

- ・ 連合婦人会が解散したという事は本当に心配である。連合婦人会を再度立ち上げるのは困難と思われる。そこで、自治会単位での婦人部活動は多く残っていると思うので、市からの支援の方策を検討してほしい。

- ・ もう1点であるが、三木の秋まつりが中止になったと聞いている。三木の一大イベントが2年続けて中止になってしまうが、それらについて、たとえば中央公民館との連携はできているのか。三木の城下町まちづくり協議会との関わりは大きかったと思う。

(神澤委員)

- ・ アンケートを行った結果、99%が中止の意向で、やりたいけれども自粛をせざるを得ない状況の中で、2年間秋まつりが中止になった。来年度に向けて継続化の検討をし、頑張っている。なお、神事は行う予定である。

(井上委員長)

- ・ 今年度は中止になるけれども、伝統行事を継承していただきたい。

(小田市民協働課長)

- ・ 市民協働課から、城下町まちづくり協議会についてご説明したい。城下町まちづくり協議会は、三木の城下町周辺の活性化のため、岩壺や大宮神社には直接関与しておらず、祭りの文化を活用して地域のまちづくりに生かそうという団体なので、神社の祭りに団体として直接関与しているわけではない。例えば、祭りの役員の皆さんが協議を重ねられて、駐車場を集合場所として貸してほしいという事であれば、中央公民館の駐車場をお貸しするなどの協力はさせていただいているが、祭りの運営や連絡調整に市の事務局は基本的には関与していない。

(井上委員長)

- ・ 2年間秋まつりが中止になってしまえば伝統的な行事を継承していくのは大変だとは思いますが、このような事態の中では残念だが仕方がないことなのかと思う。今後ともよろしく願いたい。

(本岡教育総務部長)

- ・ 通学路の安全点検について、担当課より説明させていただきたい。

(仲谷教育施設課長)

- ・ 教育施設課から通学路についての説明をさせていただきたい。千葉の下校中の交通事故により、三木警察署から緊急安全点検の要請を受け、7月7日に教育委員会で過去の危険箇所をピックアップしたところ、5か所あった。その箇所について、三木警察署、道路河川課、生活環境課、教育委員会で点検を行い、安全対策の確保が出来るかどうかを検討した。概要としては、溝があって危険なところは溝蓋をしたり、対策が出来ないところは、注意を喚起する表示を電柱に設置することになった。

- ・ 続いて、元々は交通安全プログラムといって、各学校から危険箇所を出していただき、市、県、国で対策がとれるかという会議を持っていたが、令和元年度に大津で事故があった関係で、今年度新たに、8月24日に三木市子どもの移動経路安全推進会議に名を変えて未就学児から小中学生までを対象にして通学路の安全確認を行うことになった。

(國井委員)

- ・ 過去に別所中学校の生徒が、グレーチングで自転車がスリップし、倒れるという事故があった。

市に要望すればすぐに対応していただいた。

(仲谷教育施設課長)

- ・学校、垣根隊などで相談していただき、学校の方で取りまとめて要望を上げていただきたい。

(井上委員長)

- ・大変熱心にご審議をいただいたことに御礼を申し上げたい。予定の会議時間をオーバーしてしまったが、ここで、事務局に進行をお返ししたい。また、東播磨・北播磨地区会教育委員協議会の関係について、三木市の役割もあるので、事務局から説明をしていただきたい。

8. その他

東播磨・北播磨地区、県・近畿・全国社会教育委員協議会関係予定 } 藤原生涯学習課係長より説明
(2分間)

9. 閉会

あいさつ 山本副委員長

～午前 11 時 40 分終了～

記録者 口吉川町公民館 友澤館長